切的与郊《館馆识切



令和7年11月号

10月18日、知名町"おきえらぶ文化ホール あしびの郷・ちな"にて、「第24回大島地区ふれあい読書フェスタ」が開催され、群島内の図書館、公民館図書室、学校関係者や読書グループの関係者が参加されていました。会場内には各市町村から寄せられた、図書館・図書室の活動を紹介する展示も掲示されていて様々な工夫がみられました。チャレンジ活動①「アニマシオン」の演習では、3人グループになり"あなたは何太郎さん?"というゲームに挑戦しました。〇×の札を持った3人の太郎さんにそれぞれ質問をして札だけで答えてもらい、5人の太郎さん候補(桃太郎、金太郎、浦島太郎、三年寝太郎、力太郎)の中から3人の太郎さんを見つけるというゲームでした。名前をだしてはいけなかったので、各グループの質問がとても面白かったです。チャレンジ活動②「ミニ・ビブリオバトル」では、自分のおすすめの本を用意して実践でビブリオバトルにチャレンジ!伝える難しさを実感しました。子どもたちへのアドバイスに活かしたいと思います。







第22回ネリヤカナヤ創作童話コンクールの受賞作品を展示しています。 町内の小学生3名が受賞しています。みなさま、お手に取ってご覧ください。







『歌講座 ハルモニア』

講 師:岡山 和子 先生、山下 智子 先生

活動日:第1土曜日 10:00~12:00

身体と心のリフレッシュ。あなたの感性を磨き ヒス ハ ニ

ましょう。

おしらせ

図書室の本は町民の大切な財産です。大切に扱い、返却期限を 守りましょう。もし汚してしまったり、失くしてしまった場合に は、お早めにご連絡ください。

《一般書》

- 『墓じまい 何をすればいいのか、教えてください! 』(吉川 美津子/WAVE出版)
- 『不登校をチャンスに変える一生モノの自信の育て方』(福田 遼/KADOKAWA)
- •『日本語どんぶらこことばは変わるよどこまでも』(飯間 浩明/毎日新聞出版)
- •『知れば知るほどおもしろい お米のはなし』(柏木 智帆/三笠書房)
- 『ぼくの学校は世界中 家族4人で地球一周!キャンピングカーで旅した1800日』 (雲野 秀美/リチェンジ)
- ・『基礎からわかるおいしい果樹栽培の教科書』(倉橋 孝夫/農山漁村文化協会)
- ・『渇愛 頂き女子りりちゃん』(宇都宮 直子/小学館)
- 『世界一眠らない日本に疲労専門医が伝えたいお疲れ日本人の本当の休み方』 (梶本 修身/Gakken)
- 『笠原将弘のまた食べたくなるおそうざい』(笠原 将弘/マガジンハウス)
- 『涙がでるほど心が震えるすばらしいクラシック音楽』(車田 和寿/あさま社)
- •『ファイナンスの世界史』(大村 敬一/日経BP日本経済新聞出版)
- 『ダークネス』(桐野 夏生/新潮社)
- •『まるで渡り鳥のように 藤井太洋SF短編集』(藤井 太洋/東京創元社) 他 《児童書》
- 『おばけのルルンとハロウィンのともだち』(大木 あきこ/国土社)
- •『大迫力!恐竜大百科』(福井県立恐竜博物館/西東社)
- •『マイマリオのえほん かおマリオ』(任天堂株式会社/小学館)
- ・『小学生のための貧困の経済学えほん』(デュフロ エステル/フレーベル館)
- 『わたしのかみのけのばしたら?』 (おおの こうへい/PHP研究所)
- •『余命一年と宣告された君と、消えたいと願う僕が出会った話』(森田 碧/ポプラ社)
- •『こころをなくしたかいじゅう』(新井 洋行/パイインターナショナル)
- 『やけんとあったかいおうち』(いしあっちゃん/文芸社)
- 『3歳から親子でできる! もっとおうち実験&あそび』(いわママ/ワニブックス)
- ・『それ犯罪かもしれない図鑑』(小島 洋祐/金の星社)
- 『そうじきのなかのボンボン』(加藤 絢子/フレーベル館)
- 『Q世代塾の問題児たち』(石川 宏千花/理論社)
- 『モンスター・チャイルド』(イ ジェムン/評論社)

他



《一般書》今月のおすすめ本

『図解眠れなくなるほど面白い疲労回復の話』

(梶本 修身/日本文芸社)

全然取れないその疲労、「脳の疲れ」が原因かもしれません。さまざまなストレスがある現代社会、疲れに悩む人は増え続けています。読むことで疲労の悩みが消え、疲れ知らずの体になることができる一冊です!

《児童書》

『クマはなぜ人里に出てきたのか』(永幡 嘉之/旬報社)

大量出没、人身事故の増加でマスコミを騒がすツキノワグマ。その背景には何があるのか?クマの棲む山岳から里山まで丹念に調べ歩き、クマと人との関係を読み解いてゆきます。